

「人の心に届く、癒やしたり励まし
たりする音楽を届けていきたい」と
話すsaya
— 神奈川新聞社



横浜出身の女性ボーカリストト・sayaが、初のオリジナルアルバム「Fantasia」のリリースを記念したライブを3月8日、東京都港区のライブレストラン「STB139」で開く。青山学院短大を卒業後に横浜・関内のジャズクラブで経験を積み、現在、その楽曲はFMヨコハマやtvkでもおなじみ。sayaは「地元から発信していきたい」と話している。

歌に目覚めたきっかけは、1992年開催のバルセロナオリンピックだった。開会式でソプラノ歌手のジェシー・ノーマンが歌う「アメージンググレース」に打たれた。いつか自分も人の前で歌いたい。このような思いを抱くようになったという。

マーチングバンドでトランペットを吹くなど、もともと音楽好き。だがこの時以来、シンガーを意識するようになった。2002年に短大を卒業すると、ライブ活動をはじめた。

関内地区に集まるジャズクラブやライブハウスには、若い人を育てようという風土があった。先輩ミュージシャン

「地元から発信したい」

横浜出身の女性ボーカリスト **saya**

も、いろいろと面倒を見てくれた。

「いろいろな店のオーナーが誘ってくれた。懐が深い街。関内、桜木町の諸先輩方に育てていただいたのがすごく大きかった」と振り返る。こうして現場での経験を重ねることで、情感と透明感あふれる歌声を磨いていった。

長いこと、ジャズのスタンダードナンバーを歌ってきた。だが徐々に「日本語で日本人のための音楽を作らなければ意味がない」と思うようになったという。その思いの結晶として昨年11月、全曲オリジナルのアルバムを発売。全10曲のうち8作品を作詞し、作曲にも挑戦した。

横浜・上大岡で生まれ育ち、現在は地元を強く意識した活動を展開している。毎週土曜夜にFMヨコハマでレギュラー番組をもつほか、アルバムからtvkの番組のエンディングテーマも選ばれた。

目標は、情熱が結晶化されたように歌う故本田美奈子だ。「聞いている人に笑顔になつてもらったり、気持ち新たにしてもらえたら幸せと思う。光を感じてもらえれば」。歌を通して伝えたいことを、こう話した。

ライブは午後7時半開演。4800円。問い合わせはサイトベジシル☎03(5474)0139。また3月16日、横浜ランドマークタワー・ガーデンスクエアでスペシャルライブを行う。東急東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転開始を記念するFMヨコハマ公開放送の一環。

(柏尾 安希子)



■ちびまる子ちゃんの企画展

フジテレビの人気アニメをテーマにした「ちびまる子ちゃんの世界展」が、横浜市中区の放送ライブラリーで開かれている。入場無料で、4月7日まで。登場人物＝写真＝を原作者さくらももこのイラストと一口コメントで紹介するコーナーのほか、アニメの台本や絵コンテ、セル画を展示。1990年に放送された第1回の映像なども楽しめる。さくら家の玄関をほぼ実寸大で再現。3月31日には、まる子との記念撮影会も開催する予定。☎045(222)2828。

■東横落語会が“復活”

かつて東京・渋谷駅前の東横劇場で開催され、多くの落語ファンに愛された「東横落語会」。劇場が閉館して以来途絶えていたが、新たに昨年できた渋谷のヒカリエホールで催されることとなり、4月14日、28年ぶりの“復活”をする。

東横落語会は1954年から約30年間にわたり、300回近く開催された。寄席とは違うホール落語の最高峰とされ、多くの名演を生んだが、惜しまれつつ幕を閉じていた。復活の初回は柳亭市馬、立川談春、柳家三三らが出演する。チケットは既に売り切れ。その後も年度内に3回程度開催される予定。